

京都府支部 まちづくり実行委員会 活動報告

報告日 2020年3月23日(日) 報告者 労組名 高島屋労働組合 氏名 村上 吉樹

開催日 2020年3月5日(水)

開催場所 高島屋労働組合会議室

参加者 藤井大丸労組：上野・万木、近鉄百貨店労組：林
高島屋労組：岡・小山・塩貝・村上

「これからの「地域との共生」について

～ これからの「地域との共生」について提案し、その後意見交換を行った。

提案内容

「地域との共生」にむけた方向性と具体的取り組み案について

1. 環境保全への取り組み強化
2. 福祉機能の充実
3. 都市整備への取り組み強化
4. 地域の安全・安心の確立
5. 地域産業・企業との連携強化
6. 観光振興への取り組み強化

今後の実践にむけた「具体的取り組み案」の区分整理

1. 従業員の意識・行動への働きかけ
2. 仕組みづくりや政策への反映
3. ステークホルダーとの関わり

意見交換

四条通におけるトランジットモール実験について

・お客様からは普段人通りが多く、狭隘な四条通の歩道が拡大された事により、歩行がスムーズになったと概ね好評の声を頂いていた(藤井大丸労組)

ボランティア活動の実施状況について

- ・社内よりメンバーを募り、店舗周辺の清掃活動を開店前に行っている。活動そのものも有意義と認識するが、活動をともにする地域住民との対話が活性化するなど、様々な面でメリットを感じている。(近鉄百貨店労組)
- ・地域の身体障害者団体が開催した運動会について、その運営補助を行った。運営ノウハウがないため、戸惑う事も多かったが、できるだけ続けていきたい。(近鉄百貨店労組)
- ・環境保全の取り組みについて、会社と共同した基金を設立し、一般組合員を交えた活動を推進している。19年度については琵琶湖のヨシ刈り(「津市民ヨシ刈り」への参画・1月)、京都市東山区の銀閣寺山におけるマツの植林及び保全活動(「京都大阪森林管理事務所」による指導・3月)を行った。(高島屋労組)

「今後の具体的な行動にむけた確認について

～ JSD京都府支部としての具体的な行動及び地区六労組への行動拡大に向け、提案・意見交換を行った。

ボランティア活動の今後のあり方について

- ・とりわけ、今後、行動拡大を図っていくべきという観点では、近鉄労組が実施している運動会への協賛活動は、地域性・ボランティア等、これからの労働組合が重点的に取り組むべき事柄を踏まえた活動であると認識する。このような取り組みに対して、地区六労組が一体となって協賛を行うなどにより、取り組みを拡大していくことが必要であるとする。

具体的取り組み内容

地区ボランティアの共同事業化について

近鉄労組が取り組んでいる内容を参考に地区におけるボランティア活動の共同事業化を今後検討していく

連合京都「政策・制度要請」への働きかけについて

今回確認された「地域との共生」のなかでも、以下の様に、とりわけ行政など外部への働きかけ・連携の要素が強いものについては連合京都の「政策・制度要請」への働きかけを行っていく事とする。

- ・屋上の緑地化への行政による助成の拡大
- ・駅前付近の駐輪場の行政による整備強化
- ・少子化対策への取り組み強化
- ・路上喫煙防止の徹底など、地域の安全・安心に向けた取り組み強化 等

地区六労組への行動拡大について

今回確認された「地域との共生」の内容に基づき、個別の労組における取り組み強化と労組間の連携を図っていく

今後のスケジュール

5月開催の六労組代表者会議において「地域との共生」の内容とボランティア具体的内容等について確認する。



コメント

地域との共生について

提案する村上氏

まとめ・感想 各労組の現状の取り組みについて積極的な意見交換が図られると共に、各労組間の連携により、今後取り組み規模の拡大が確認されるなど、有意義な会合であったと認識する。

次回開催日 5月下旬

次回開催内容 政策・制度要請項目の確認及び、地域における共同事業について